

# 信号変換基板 取扱説明書

接点 RS232C (ステータランプ対応)  
SANYO VP用  
(XF30,XT16S,XP51,XP56,XU61,XT25,XU48,XP57,XT35  
XP-100L, XM150)

(有) ロジックス

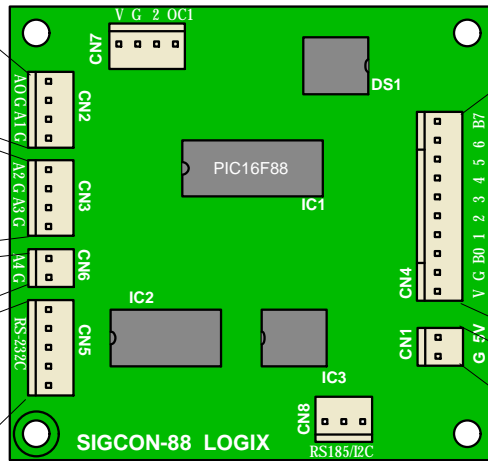
857-0055  
長崎県佐世保市湊町2-15  
電話 : 0956-25-3963  
FAX : 0956-25-3964

E-mail : [logix@lgx.co.jp](mailto:logix@lgx.co.jp)  
WebPage : [www.lgx.co.jp](http://www.lgx.co.jp)

この変換基板は基板上の1チップマイコンのプログラムを調整することで、その機能を実現しています。  
入出力の様子は下記のとおりです。電源、および信号の極性には十分注意して配線してください。  
注意点として、接点入力信号線の長さは1M以内(できるだけ短く)、RS-232C信号は15M以内で使用してください。この長さは使用する環境により、左右されます。

LED出力電流は基板上で約15ミリアンペアになるように制限しています。

PWR ON LED	1
GND	2
PWR OFF LED	3
GND	4
INPUT2 RGB LED	1
GND	2
INPUT3 VIDEO LED	3
GND	4
	1
GND	2
Tx	1
RX	2
未使用	3
未使用	4
GND	5

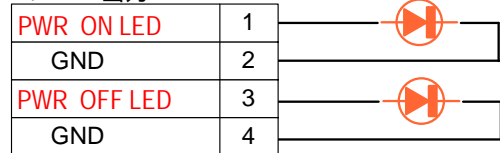


1	POWER ON
2	POWER OFF
3	RS-232C TX 使用
4	INPUT2 (PC)
5	INPUT3 (VIDEO)
6	RS-232C RX 使用
7	
8	
9	GND
10	+5V 接続しない

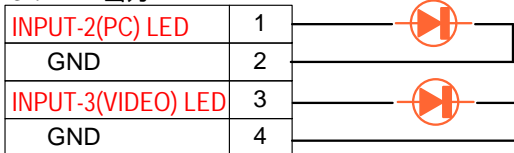
1	
2	GND

CN1 : 電源入力 安定化されたDC 5Vを入力します  
(消費電力 : 50mA以下)

CN2 : LED 出力

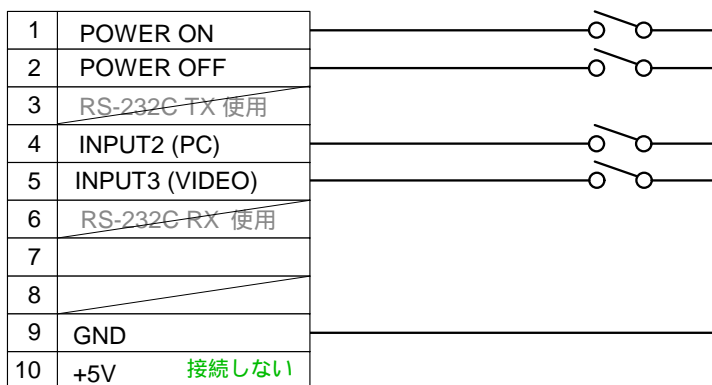


CN3 : LED 出力



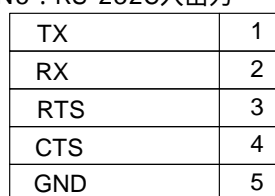
電源OFF時にPOWER-ONスイッチを押すと、プロジェクトの電源が入り、ランプ点灯制御中になります。このとき、PWR-ON LEDが点滅します。この期間すべての入力は無効になります。  
電源オン時、POWER-OFFスイッチを押すと、消灯制御に移ります。消灯制御中はPOWER-OFF LEDが点滅します。この期間すべての入力は無効になります。  
電源オフへの移行時、今まで点灯していた入力ポジションランプはすべて消灯します。  
電源オン時、入力切替スイッチ (INPUT-2, INPUT-3) を押すとプロジェクトは対応する入力に切り替わります。このとき対応するランプも切り替わり点灯します。  
電源及び入力ポジションのLEDはプロジェクトの状態を反映しています。  
電源オフ時は入力切替は機能しません。

CN4 : パラレルコントロール入力



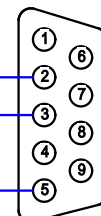
これらの端子をGNDに接続すると、該当するコマンドが出力されます。  
この信号はグラウンドにショートした瞬間、出力されます。同時に複数選択することは禁止です。

CN5 : RS-232C入出力



Dsub9P メスコネクタ

通信条件 : 19200N81  
RS-232Cケーブル



LP-XM150  
ControlPort